

# VISION 2030



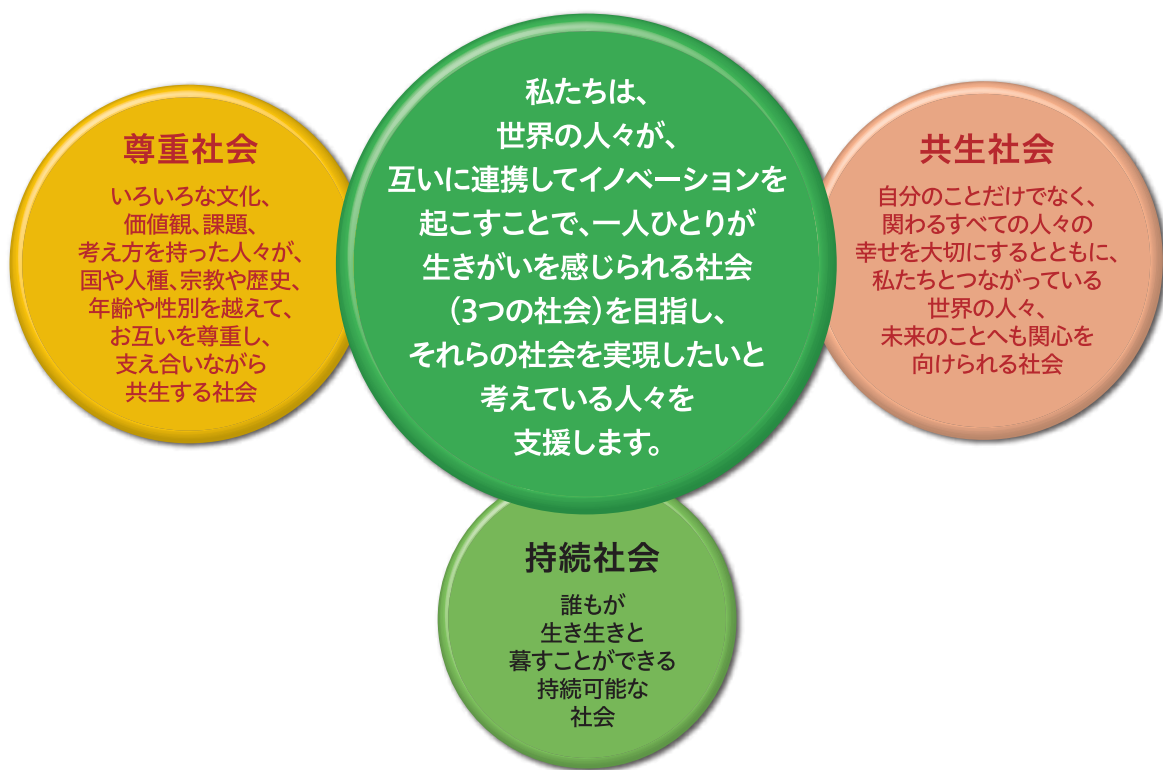
## PREXビジョン2030

設立から30年の節目となる今年、PREXは、途上国の発展を支える人材の育成と、それを通じた関西の国際的な人材交流を目的に、新たなビジョンを目指し、7つのアクションプランをスタートさせました。今、世界は、新型コロナウイルスにより、甚大な影響を受けています。こういう時だからこそ私たちにできることは何かを日々考え、活動しています。この号では、「PREXビジョン2030」に込めた私たちの思いと、アクションプランの各チームリーダーの意気込みをお伝えします。

# 10年先の世界、

## PREXビジョン2030

PREXは、人材育成を通して、イノベーションを喚起し、異なる価値観を持った人々が互いに認め合い、共に支え合える社会の実現に貢献します。



PREX会長  
大坪 清

現在、新型コロナウイルスにより、世界中にいろいろな影響が出ています。コロナウイルスにより亡くなられた方、入院をされている方々にお見舞いを申し上げます。

PREXは、人材育成を通して途上国をはじめ、各国の経済と社会の発展に貢献します。そのため、職員は常に、各国、地域、各人の持つ課題の把握に全力で努め、よりよい知識共有の場づくりに励んできました。

しかし、世界は今“VUCA”と言われるような、複雑かつ曖昧な状態が続いています。Vは『Volatility(変動性)』、Uは『Uncertainty(不確実性)』、Cは『Complexity(複雑性)』、Aは『Ambiguity(曖昧性)』です。“Volatile”とはマッチで火をつけると爆発してしまうような状態のことです。例えばアメリカと中国との関係、あるいはアメリカと北朝鮮との関係、イギリスとEUとの関係など、非常に”Volatile“な関係であると言えます。

PREXは今年4月に設立30周年を迎えました。これを機に10年先を見据え、「PREXビジョン2030」を策定し、ビジョン達成に向けて各職員がアクションプランに取り組み始めました。このような時代であればこそ、PREXのビジョンでは、異なる価値観を尊重する社会、自分とつながる全ての人の幸せを考えられる社会、持続可能な社会、この3つの社会の実現に向けて進めようとしています。引き続きご支援をお願いします。

# 10年後のPREX

## 『PREXビジョン2030』に込めた思い

私たちは、設立以来、研修や人的交流といった事業を通して、人と人が出会い、それぞれの考えや思いを共有できる場を提供してきました。その中で、人が感動し、気づきを得ることで、考え方が変わり、行動の変化をもたらし、そこから新しい価値が生まれることを実感してきました。そのような行動を起こす人たちが増えることが、それぞれの組織、地域、国、そして世界のよりよい発展につながると確信しています。

私たちの願いは、世界が平和で、人々が幸せに暮らしていけることです。事業を通じて、途上国をはじめとした各国と日本の、経済と社会のよりよい発展によって、一人ひとりが生きがいを感じられる社会の実現に貢献します。



PREXウェブサイトでは、  
ビジョン策定の背景を  
掲載しています！

Action  
Plan

# 1



## 研修事業で持続可能な社会づくりを目指す人材の育成を

- ★研修を多様なバックグラウンドをもった人々が集まり、相互理解を深める場とする
- ★私たちの目指す3つの社会を達成するための視点を、研修に取り入れる

PREXは今までも持続可能な社会の実現に貢献する人材を育成する研修を実施してきました。しかしながら持続可能な社会づくりに貢献していると研修員本人に意識してもらう機会はなかったと思います。本人が意識して取り組むかどうか、それによって行動の結果は大きく異なります。PREXでは研修員が持続可能な社会について考える機会を設けていきたいと考えています。特にその根幹となるのは相互理解。世界は異なる価値観を持つ人々で溢れています。幸いにもPREXは世界各地の人々が出会う場をつくることのできる環境にあります。自分とは異なる価値観を理解し合う輪を広げていくんだ、そんな気持ちで取り組んでいきたいと思っています。(奥村、佐賀)

## 2

## 関西の国際化を支えるダイバーシティの実現を

- ★在日留学生が活躍できる、日本で働く外国人に働きやすい環境を
- ★留学生や青年海外協力隊経験者などの国際人材と中小企業の架け橋になる
- ★関経連が提唱する「Look West」の視点のもと、ABCプラットフォーム等の事業で連携を図り、関西とアジアの共生と双方向性を通じた交流の促進をリードする



在日外国人留学生や日本の企業で働く外国人、また海外で様々な経験を積み日本の国際化に貢献できる日本人など、それぞれが活躍できる環境づくりを目指しています。日本に住み学んでいる多くの留学生や、日本企業で働く外国人従業員の皆さんにとって、成長・活躍できる場があることで、日本社会や企業の発展にも繋がるはず。PREXも協力隊経験者を採用していますが、途上国での経験は組織にとって大きな刺激やエネルギーをもたらしています。なかでも、関経連が提唱する「Look West」の視点のもと、ABCプラットフォーム等の事業で連携を図り、関西とアジアの共生と双方向性を通じた交流の促進をリードしてまいります。(瀬戸口、中谷、前田智)

## 3

## PREXのネットワークを活用し、SDGsに貢献を

- ★PREXがもつネットワークを活用し、途上国に裨益するSDGsビジネスを支援する
- ★SDGs達成のためのパートナーシップを生み出す(SDGsゴール17への貢献)

「他人ごと」として現在のSDGsの流れをとらえるのではなく、「自分ごと」としてPREXの職員一人ひとりが日常生活や業務の中で、SDGs達成に向け取り組むことができていると感じることができるよう、また日ごろから関わりを持っていただいている関係機関の皆様にもPREXとの関わりを通じてSDGs達成へ貢献していると感じていただけるように、すべての関係者の皆様と対話や学びの場、実践の場を共有し、その輪を広げていくことで、SDGs達成を目指したいと思っています。(狭間、阿部、奥村)



上本町 SDGs 大学の様子

## 4

## 人が集まる広報を

- ★『PREXビジョン2030』に共感し、協力したいと思う人が集まるような情報を発信する
- ★PREXからの一方向の情報発信に留まらない関係づくりにつなげる

昨年リニューアルしたウェブサイト「世界は人でできている」を、日本の皆様と世界各国の研修員が、SDGsやカイゼン、世界の動きについて話題を提供しあえるプラットフォームにしています。(西本、関野、池田)



## 5

## 組織の中からビジョン達成を

- ★職員それぞれの状況にあった働きやすい環境をつくる
- ★職員一人ひとりが働きがいを感じる職場づくりを目指す
- ★職員一人ひとりの多様性や双方向性、そしてSDGsに対する理解をさらに高め、ビジョン達成を目指す
- ★CSR調達に取り組む



職員が仕事にやりがいを感じながら能力を発揮し、社会への貢献が実感できることが生きがいにつながると考えます。そのため、柔軟な働き方ができる制度の充実、自分の貢献度を正しく評価されるしくみ、財務面から見た組織のあり方の共有に取り組みます。世界の人たちが共に支えあえる社会を実現できるよう、職員それぞれの思いを叶えられる職場を目指します。職員一人ひとりが多様性や双方向性、そしてSDGsに対する理解をさらに高め、ビジョン達成を目指します。(古本、西本、関野、池田)

Continuity  
Plan

## 1

## 新たなニーズに対応できる新規事業の開発を

私たちの持てる力に磨きをかけて、PREXが貢献するフィールドを広げるための新たなチャレンジです。時代と共に世界の環境は加速度的に変化し続けます。より良い未来づくりのためには、様々な分野での優れた課題解決手法や、ベストプラクティス事例を学び、実行し、そしてなによりも共に進化させ続けることが不可欠です。そのため、私たちはPREXが提供するプログラムの幅を広げ、質を高め、パートナーづくりを通じて、世界の多様な人々と共に学ぶ機会を広げる活動を推進します。(広瀬、前田智、佐賀)

Continuity  
Plan

## 2

## 「同窓生」と関係先との交流を

PREXでは、これまで実施した研修に参加した研修員の方々を対象に「PREXグローバルネットワーク」を組織し、ウェブサイトやSNSを活用して様々な情報を提供していますが、次年度から現地ニーズに応えられる講師派遣スキームも開始する予定です。また、私たちはこの「PREXグローバルネットワーク」をより強固なものにし交流を深めるため、研修でお世話になった講師・訪問先の皆様からのビデオレターを配信したり、ネットワーク参加者対象のイベントを企画するなど、より魅力あるコンテンツを提供できるよう取り組んでいます。ビデオレターの配信は広報チームと連携して3年前から続けていますが、動画でのメッセージは喜ばれるようで、研修員の皆さんから毎回好評をいただいています。今後より一層研修員と各関係先の皆様との交流の場を広げ、さらに充実したものにできるよう活動を進めてまいります。(山内、島田、亀田)



研修員と訪問先企業

# 私が大切に している国。

今回は佐賀職員が  
エチオピアを紹介します。



JICA青年海外協力隊としてエチオピアにて活動。右から2番目が佐賀職員。

はじめまして。4月13日付でPREXに入局しました佐賀 千紘です。PREXに入局する前は、食品メーカーの営業をしていました。その後、JICAの青年海外協力隊としてアフリカのエチオピアで、水や公衆衛生に携わる活動をしていました。エチオピアで活動するにあたって、他国から来た人よりも、現地の言葉や文化を知っている現地の人がリーダーシップをとることが持続可能な開発に必要なと感じ、人材育成に携わる仕事がしたいという思いでPREXへの入局を志望しました。

エチオピアは、世界文化遺産が8件、世界自然遺産が1件ある等、魅力的な場所がたくさんあります。独自の文化が根強く残っており、アフリカのほかの国とも異なる点があります。世界遺産の他にも、コーヒーの産地であったり、80以上の民族がいる等、多くの魅力があるので、是非たくさんの方に訪れていただきたいです。コロナになってから、エチオピアとのネット環境がいつも以上に悪く、エチオピアの友人とあまり連絡が取れずとても心配です。しかし、以前活動を行っていた現地NGOから連絡があり、協力隊時代に行っていた「手洗いプログラム」の歌を活用して、町の人たちに手洗い推進活動を行っていると聞きました。

自身の活動が少しでも役にたったのではと思うと、嬉しく思います。しかしまだまだ油断はできない状況です。引き続き連絡を取り合い、日本からできることを考えたいと思っています。

# キラリ企業訪問

ご ぎょ ふく  
珍味を極める♥  KOBE 伍魚福

こんにちは。兵庫県神戸市にある株式会社伍魚福の代表取締役社長 山中 勸です。

2006年から、年に1~2回、PREXの研修に協力して、ウズベキスタンやモンゴルの経営者の皆さんに「経営理念、マーケティング」の講義をしています。これまでに当社へ来訪された方は100人を超えます。世界的なコロナウイルス感染拡大の状況ですが、海外の研修員の皆さんに、「PREXビデオレター」でメッセージを届けたところ、世界中から「コロナに負けず頑張っています！」という返信が届き嬉しく思っています。

新型コロナウイルスの感染拡大で、消費者のニーズは大きく変わりました。

「感染不安を解消しながら、友人と楽しく食事をしたい」

「感染不安を解消しながら、旅行に行った気分を味わいたい」

「感染不安を解消しながら、帰省して家族と楽しい時間を過ごしたい」

すべてのニーズの枕ことばに「感染不安を解消しながら」がつくのです。

オンライン飲み会、オンライン帰省、オンラインセミナーなど、すべてこのニーズに応えようとするものです。

伍魚福でもお得意先小売業の店頭で売れる商品が変わったり、インターネット通販のご利用が増えたりしています。(通販では、6月「父の日」プレゼントで過去最高の売上を記録しました)

今後も伍魚福がお客様にどんな価値を提供できるのかをTEAM GOGYOFUKU全員で考え、具体的な売場や商品として実現してまいります。



ウズベキスタンからの研修員たちと

株式会社伍魚福は、1955年創業。社員数70名。

「おもしろい会社」を目指したユニークな経営は、高く評価されており、ひょうご経営革新賞、グッドカンパニー大賞・優秀企業賞、関西経営品質賞・優秀賞等の表彰を受けている。山中社長に「チーム経営」の秘訣や今、大切にしていることとお話いただいたロングインタビューをPREXサイトで公開中！

<https://www.prex-hrd.or.jp/>

世界的なコロナウイルス感染拡大の状況を受け、研修員が、海外から来日することは難しい状況です。PREXの職員は、ウェブを活用してより良い研修ができるように準備をしています。次号は「コロナに負けない」特集です。読者の皆さまの「コロナに負けない」日々の工夫やお考え、ぜひお聞かせください。お待ちしております。  
E-mail: prexhrd-pr@prex-hrd.or.jp



## PREXグローバルネットワークメンバーだより ナイジェリアのラゴス商工会議所へンリーです。

コロナ禍でのビジネスや持続可能な経済への提言を作成しました。読者の皆様にとって、有益な調査となっていると思います。「ラゴス商工会議所:Lagos Chamber of Commerce and Industry」のウェブサイトには、この提言だけでなく、様々なレポートを掲載しています。ご覧ください。

2019年度  
「JICA中小企業  
振興のための  
経営強化  
(金融アクセス)  
研修」参加者

ラゴス商工会議所は、定期的いろいろなレポートを出されています。ナイジェリアに興味のある方は、ヘンリーさんやナイジェリアからの帰国研修員や留学生と直接お話することも可能です。PREXにお声がけください。  
(PREX 前田智帆)



## 参加者募集中！ ベトナム人リーダー育成研修2020

- 時期: 10月1日～23日のうち10日間
- 対象: 企業のベトナム拠点等の管理者、管理者候補のベトナム人社員
- テーマ:

- 導入 10月1日
- ① 経営理念 10月2日                      ② 改善 10月6日～8日
- ③ 組織管理 10月15日～16日              ④ 人材育成 10月21日～22日
- まとめ 10月23日

※①～④の中から選択することも可能です。  
※10月1日、23日は全員参加となります。

- 使用言語: ベトナム語
- 会場: PREX会議室および、企業訪問
- お申込み、問い合わせ先: 瀬戸口、佐賀
- メール: seminar\_vn2020@prex-hrd.or.jp



ウェブサイトは  
こちら

詳細はPREXウェブサイトでご確認ください。  
コロナウイルス感染拡大防止に十分配慮して、実施いたします！

PREX presents  
ベトナム人リーダー育成研修  
2020参加者受付中



## 初めまして！



左:兵頭孝之です。(7月1日付、ダイキン工業株式会社から出向)  
中央:佐賀千紘です。(4月13日付、入局)  
右:武谷進です。(6月1日付、株式会社クボタから出向)

女性も  
男性も  
活躍して  
います！



PREXは、大阪市「女性活躍リーディングカンパニー」、大阪府「男女いきいき元気宣言」事業者  
に認定されました！

PREX NOW第260号(2020年9月発行)  
編集・発行:公益財団法人 太平洋人材交流センター  
専務理事・事務局長:岡本 譲  
〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8-2-6  
大阪国際交流センター2階 TEL.06-6779-2850  
ホームページ: <http://www.prex-hrd.or.jp>  
E-mail: prexhrd-pr@prex-hrd.or.jp  
企画制作: ユナイテッド・トゥモロー